

キャリア

プロジェクトX 挑戦者たち 命の離島へ 母たちの果てなき戦い

放送日:2022年5月8日 放送時間:43分



対象校種 小学校高学年・中学校・高校

対象教科 学級活動・道徳

この番組の良さ



● 島の医療に半生をささげた 公衆衛生看護婦

凄まじい地上戦となった沖縄では、水道施設が壊滅し、川の水を利用せざるを得ませんでした。衛生状態の悪化により結核やマラリアが蔓延し、抵抗力の弱い幼い子が多く亡くなりました。医師も極度に不足し、病を治す者がいない状態でした。特に離島の状況は深刻でした。そのような中、琉球政府は「公衆衛生看護婦」を養成し、島々に駐在させ、病気の予防から治療まで、全てを担わせることにしました。番組は自ら志願し、島の医療に半生をささげた女性たちの苦労や努力をする姿を描いています。

● 看護婦の姿から生き方を考える

番組に登場する与那覇しづさんや、山城ヒロ子さんは、養護教諭や教師を辞めて公衆衛生看護婦となりました。派遣された島で困難に立ち向かい、島の医療に全てを尽くす姿は視聴者の胸を打ちます。生き方や労働観を考える番組としても活用することができます。

番組活用のポイント

● 公衆衛生看護婦としての苦労や 努力する姿から学ぶ

中学校の学級活動の内容には(3)一人一人のキャリア形成と自己実現、「ウ 主体的な進路の選択と将来設計」において、「目標を持って、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること」と示されています。その活動の工夫として地域の職業人の講話等を活用しての展開を例示していますが、学校の実情として厳しい場合もあります。そこで本番組の活用をお薦めします。

番組では、公衆衛生看護婦として使命感を持って離島に駐在し、島に蔓延していた感染症等の予防や治療を一手に引き受けざるを得なかった女性たちの物語が描かれています。特に、与那国島に派遣された与那覇しづさん、西表島に派遣された山城ヒロ子さんは、それまでの仕事をやめてまで看護婦になり、慣れない島で島民の信頼を得ながら感染症の撲滅に力を尽くしました。番組を通して、そうした職業人としての姿や働き方、生き方に関する情報を得るとともに、労働観について考えることができます。

● 困難や失敗を乗り越えて、 着実にやり遂げるために

道徳科の授業として、例えば「4 希望と勇気、克己と強い意志」「13 勤労」等の指導項目としても本番組は活用できます。

与那覇さんは、結核にかかっていることが噂されている家に行っても近所の目を気にして入れてくれない体験や、昼夜を問わない急患の対応など、多くの困難に直面しながらも、それを乗り越え、島から結核などの感染症を撲滅しました。番組を通じて、こうした生き方を学ぶことで、目標を持ち、困難や失敗を乗り越えて挑戦し続けることが、日々の生活の充実につながることに気づくことができます。

執筆者
沖縄県西原町立西原東小学校
校長 甲斐 崇



公衆衛生看護婦として、島の医療に尽くす姿から、仕事の魅力や生き方について考える

対象校種 中学校 対象教科 学級活動

[授業時間 100分] まるごと視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>不安 早く治りたい 病院に行きたい</p> <p>医者や医療従事者がいないとどうなるのだろう?どのように病気の治療や予防をしていたのだろう。</p> <p>病気が蔓延する 多くの人が亡くなる 生活に影響が出る あきらめるしかない</p> <p>公衆衛生看護婦とはどのような仕事なのだろう?どんな工夫や苦労があったのだろう?番組を見たい!</p> <p>番組まるごと視聴(43分)</p> <p>与那国島への駐在 入れてくれない住民 レントゲンに成功</p> <p>仕事内容 大変だったこと 工夫や努力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の治療や予防 ・予防接種、健診 ・栄養相談 ・予防方法を教える ・衛生状態が悪い ・機器が不足 ・住民が訪問を拒む ・昼夜を問わず急患 ・1件1件訪問する ・薄暗くなって訪問する ・役場への予算交渉 ・患者宅へ泊まり込む <p>・公衆衛生看護婦として、大変な仕事に誠実に向き合い、困難に負けず、さまざまな工夫や努力をしていた!</p> <p>どうしてこのような工夫や努力をすることができたのだろうか?</p> <p>離島の子供たちを救いたい 感染症の蔓延を防ぎたい 住民の命と健康を守りたい</p> <p>公衆衛生看護婦は、島の住民に誠実に向き合い、予防接種や健診、栄養相談などを工夫して行ない、沖縄の離島の人々の命と健康を守り続けた。</p> <p>事後の活動として、他の職業の仕事の内容や工夫について調べたり、発表したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病気をした時の気持ちについて聞く。 ・病気になっても医療機関が利用できない場合のことを想起する。また、沖縄戦直後の状況を紹介し、その影響や住民の思いを話し合う場を設定する。 ・感染症が蔓延する中、沖縄で公衆衛生看護婦が誕生し、島での病気の予防から治療までをすべて担ったことを紹介し、課題意識をもって番組を視聴できるようにする。 ・まるごと視聴が難しい場合は、部分視聴(4分38秒～24分52秒まで)も可能。 ・視聴後、「仕事内容」「大変だったこと」「工夫や努力」の3つの視点から、公衆衛生看護婦の仕事について整理する。 ・公衆衛生看護婦の仕事内容や工夫や努力から、なぜ、何のためにそのようなことをしているのか、看護婦の思いや願いに焦点を当てて話し合いを行うようにする。 ・それぞれが考えたことを発表し、公衆衛生看護婦の仕事についてまとめていく。 ・学校の実情に応じて、他の職業の工夫や努力についても調べ、共通点などを探る。